

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 6 日

事業名称		南街公民館事業費 [南街公民館事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業番号	2	
事業の種別		☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名		中央公民館		課		南街公民館		係		課長名 伊藤 智		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		1-2 ・ 5-3		
【施策名】生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立								総合計画書(ページ)		35・110		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民					南街・桜が丘・向原地区に居住する市民の数(R3年4月1日現在) 公民館利用に地域制限はないが、近隣住民の人数とした。						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	地域で、講座やグループ活動等の学習の場に参加できる。					①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(R4年3月31日現在)						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①利用者連絡会の運営支援 ②主催講座等の開催 ③主催イベント等の開催 ④公民館施設の貸出 ⑤南街公民館だよりの発行					①利用者連絡会主催事業の開催回数 (総会、役員会、利用者懇談会、合同交流会 等) ②主催講座等の開催回数 ③主催イベント等の開催回数 ④公民館施設の利用率 ⑤南街公民館だより(ハロー公民館)の発行回数						
	対象指標		①の数値	人	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
					平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
成果指標		②の数値	①人 ②人 ③団体	①1,832 ②25,292 ③102	①175 ②12,828 ③101	①378 ②16,828 ③106						
目 標		②の目標値	①人 ②人 ③団体	①2,000 ②25,000 ③100	①2,000 ②25,000 ③100	①2,000 ②25,000 ③100						
			目標値設定の考え方									
新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前は、毎年、各利用実績等が増加傾向にあったが、施設規模や高い利用率から判断して設定できる最大値とした。												
活動指標		③の数値	①回 ②回 ③回 ④% ⑤回	①19 ②34 ③3 ④70.94 ⑤3	①20 ②22 ③0 ④49.28 ⑤2	①14 ②27 ③0 ④54.00 ⑤3						
3 経費	事業費(実績)		円	3,611,416	2,967,710	2,645,719	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	一般財源		円	3,498,776	2,896,730	2,592,069						
	特定財源(国・都・他)		円	112,640	70,980	53,650						
	(うち受益者負担)		円	112,640	70,980	53,650						
	所要人数(再任用以外)		人	1.0	0.5	0.5						
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.5	0.5						
	職員人件費(再任用以外)		円	8,310,000	4,190,000	4,125,000						
職員人件費(再任用)		円	0	1,980,000	2,015,500							
事業費+人件費		円	11,921,416	9,137,710	8,786,219							
4 環境変化等	(1) 開始年度		S46 年度									
	(2) 環境の変化 南街公民館は、市内初の公民館として昭和46年6月に開館して以来、南街地域を中心に生涯学習活動の拠点となっている。南街公民館では、音楽系、美術系をはじめ、様々なジャンルのグループ活動を支援することで市民の生涯学習の充実を図っている。平成27年10月から、インターネットによる施設予約システムが稼働し、各施設の予約状況が容易に確認でき、スムーズな予約受付等が可能となっており、利用率も比較的高い施設となっている。令和3年度は、公民館開館50周年を迎え、各種記念事業を始め、例年行っている公民館主催事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、ほとんどの事業は中止もしくは計画変更せざるを得なかった。令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響がどのように及ぶかが懸念されている。											

事業名称	南街公民館事業費 [南街公民館事業]				
担当部署・課長名	中央公民館	課	南街公民館	係	課長名 伊藤 智

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う公民館施設の利用制限や主催・共催行事の中止について、多くの利用者から度々問い合わせがあったが、大きなトラブルにはなっていない。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ	取組手法：①②③⑤⑥市報・市HP・こうみんかんだより・地区館だより			
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
	日頃から利用者とのコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を築いていくことが、さらに適した協働の形態とするために大切である。				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）				
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じつつ、また、新しい生活様式に対応した事業の在り方を検討しながら、利用者に配慮した事業運営に努める必要がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。				
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、予定されていた多くの行事や事業が中止となり、達成は困難であった。ただし、公民館まつりについては、5館合同形式となり、展示部門はインターネットを活用したデジタル展示、発表部門はYouTubeを活用した動画配信の形式で実施した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
	引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じつつ、また、新しい生活様式に対応した事業の在り方を検討しながら、利用者に配慮した事業運営に努める。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
	施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立				
	☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止				
	【取組内容】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じつつ、新しい生活様式を踏まえた公民館事業を展開する。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について、市民（主に公民館利用者）への情報提供を迅速に行うとともに、協力要請を行う必要がある。 また、利用しやすい公民館となるよう老朽化した施設の改善や必要備品の確保に努める必要がある。				